

写真で文化の秋堪能

子ども表情愛らしく 南丹

南丹市八木町の旧吉富小では、写真展「なつそらピクニック」が開催中だ。かつての学びやに子どもたちを活写した愛らしい写真が展示されている。

同市の写真愛好家による「フタリドリ写真部」が主催。教室には写真家西川善康さんが自身の子どもを被写体にして作った写真かるたを展示。森の中の滑り台の上でくつろぐ様子や、米粒まみれに

なりながら炊飯器のご飯を食べる様子を切り取る。

また、同部のメンバーらが制作したかるたや、太陽光で焼き付ける青写真も並ぶ。展示総数は約100点。

体育館では「吉富ノ庄まつり」の文化展として地元住民が写した風景写真や手作りの布小物のほか、小学校でチャイム代わりに使われていた鐘もある。28日まで。無料。

(秋田久氏)



子どもを活写した写真かるたが並ぶ旧吉富小での展览会
(南丹市八木町)

亀岡市と南丹市で写真展が開かれ、子どもや自然の風景などを写した作品が並んでいる。多くの市民たちが会場を訪れ、「文化の秋」を堪能している。